

データシート

# VIAVI

## OneExpert CATV

スキルレベルを問わない全エンジニア向け全機能搭載ハンドヘルドデバイス

OneExpert™ CATV は、フィールド作業者が初回の訪問で問題を正しく解決するのに役立ちます。使いやすいインターフェイスと OneCheck™ での自動テストにより、合否結果が簡潔なダッシュボードに明確に表示され、複雑な作業が簡単になります。また、将来対応のモジュール方式により、ケーブルテレビネットワークの長期的にわたるサポートを保証します。

### 総合ツールによる生産性の向上

VIAVI はその専門知識、専門技術を OneExpert に結集しました。スキルレベルを問わず、あらゆるエンジニアが素早くパフォーマンスを最適化できます。目まぐるしく変化するテクノロジーに容易に適応できるモジュール式プラットフォームである OneExpert CATV には、以下の特徴があります。

- シンプル – チャンネルの自動識別によりチャンネルプランの作成、保守、導入オーバーヘッドを排除し、チャンネルプランに関連する失敗なしにテストの自動実行が可能
- 高速 – OneCheck は強力な処理と比類のないスピードでテストの完成度を向上。MER と BER をはじめとする総合テストを約 1 分で実施可能
- パワフル – インテリジェントでパワフルなアルゴリズムがバックグラウンド動作しながら、テスト時はメーターが問題点を指摘し、次のトラブルシューティング手順を提案



### 利点

- テストとトラブルシューティングの簡素化と高速化
- コンプライアンスと監査パフォーマンスの改善
- やり直しの減少
- エンジニアの誰もがエキスパートに

### 特徴

- リアルタイムチャンネル識別によりチャンネルプランの必要性和プラン作成関連のエラーを排除
- DOCSIS®, WiFi、マルチギガビットイーサネット対応、TrueSpeed™ オプション
- フィールド交換可能 DOCSIS/RF モジュール
- デュアルダイプレクサの独自の設計により、拡張リターン帯域への移行をサポート
- WiFi、ワイヤレスパーソナルエリアネットワーク、および StrataSync™ に対応
- イングレスと下り回線の同時テスト
- オプションのファイバースコープとパワーメーター
- オプションの ISDB-T モジュール

### アプリケーション

- QAM 搬送波/ホームネットワークのトラブルシューティング
- WiFi ネットワークの確認
- ギガビット DOCSIS サービスのテスト
- 検査、パワーレベル、RF 性能を含む PON/RFoG のインストール
- RPD アクティベーション用のオプションの QAM ビデオ MPEG 分析
- 宅内漏れテスト (オプション)
- フォワードスイープとリバーススイープによるネットワークメンテナンス

## 仕様

周波数範囲		
自動切り替えダイプレクサ	上り回線	下り回線
42/85	4~42MHz、 4~85MHz	54~1,004MHz、 108~1,218MHz
42/204MHz	4~42MHz、 4~204MHz	54~1,004MHz、 256~1,218MHz
65/204	4~65MHz、 4~204MHz	83~1,218MHz、 258~1,218MHz
85/204	4~85MHz、 4~204MHz	108~1,218MHz、 258~1,218MHz
確度	25°C 時 ±10ppm 代表値	

下り回線解析 - ポート 1	
AutoChannel プランビルダー	チャンネルパラメータの自動検出 (アナログ/デジタル、シンボル、QAM)
最大入力電力	総統合出力 60dBmV
ダイナミック レンジ	44kHz RBW 時 >80dB
通電タップ上で 稼働	入力ポート上で最大 90VAC/DC で稼働
電力の検出/ 通知	ポート 2 での 2V を超える AC/DC 電力 の存在を通知
リターンロス	9dB 超

上り回線解析 - ポート 2	
イングレス スペクトラム スキャン	0.5~204MHz
感度	-45dBmV
RBW	300kHz
最小検出 レベル上り回線	-55dBmV
ダイナミック レンジ	ONX-630 - 60dB、ONX-620 - 50dB
最大総統合 出力	55dBmV、4~10MHz、60dBmV、 10~204MHz
確度	±2dB 代表値、25°C 時
サンプル レート	Hyper Spectrum™ FFT ギャップレス テクノロジー - サンプル抽出ミスなし、 0.5~110MHz、110~160MHz、 160~204MHz
リターンロス	9.5dB 超
通電タップ上 で稼働	入力ポート上で最大 90VAC/DC で稼働
電力の検出/ 通知	ポート 2 の AC/DC 電力が 2V を超えて いることを通知

上り回線信号発生器	
同時に生成 される信号数	1~8
信号タイプ	信号はすべて CW または変調済み
サポートされ ている変調	QPSK、16 QAM、64 QAM
サポートされ ているシンボ ルレート	5.12、2.56、1.28、0.64、0.32、0.16 Msym/s

## 仕様(続き)

アナログチャンネル測定	
ビデオと音声レベル(デュアル)	
標準規格	NTSC、PAL、SECAM
最小検出信号	-50dBmV(シングルチャンネル)
レベル確度	±1.5dB -20dBmV~+50dBmV 代表値、 25°C時 ±2.0dB、-10°C~+50°C
RBW	300kHz
搬送波対雑音比	
チャンネルタイプ	NTSC、PAL、SECAM、非スクランブル
範囲	30~51dB(NTSC、4MHz 測定帯域幅)
必要な入力レベル	0~+40dBmV(77 アナログチャンネル)、 最大 ±15dB チルト 50~1,000MHz
確度	指定測定範囲 600MHz 以下時 ±2.0dB
下り回線デジタルチャンネル解析	
校正済み電力レベル	-20dBmV~+50dBmV
レベル確度	±1.5dB -20dBmV~+50dBmV 代表 値、25°C 時 ±2.0dB、-10°C~+50°C
変調	64、128、256QAM、OFDM
付録 A: 5.057~6.952MSPS	
付録 B: 5.057MSPS (64QAM 用)、5.361MSPS (256QAM 用)	
付録 C: 5.274MSPS (64QAM 用)、5.361MSPS (256QAM 用)	
地域復調	DVB-C
フルスパン MER	
搬送波上のイングレス — フルスパンイングレスノイズ	
グループ遅延とチャンネル内周波数応答(ICFR)	
デジタル品質指標(DQI)の経時変化	
エラー秒数/重大エラー秒数	
レベル、測定シンボルレート、搬送波周波数、変調、インター リーバー深さ	

雑音周波数仕様	
雑音周波数範囲	25Hz~1000Hz
最小 MER	33dB
最大確度 5% ハム	+/- 0.8%
5~10%	+/- 1.0%
OFDM 信号性能メトリックス	
OFDM チャンネル	24~192MHz 幅 - 最大 3 つの アクティブ OFDM チャンネル
レベル - 最大、 最小、平均、標準偏差	CableLabs® に従い、6MHz 搬送波 を基準とする
MER - 最大、最小、 平均、標準偏差、 パーセンタイル	12~50dB
MER チャンネル帯 域幅グラフ	全 OFDM 搬送波の最大、最小、平均
雑音	最大
エコー	dBc
ICFR	搬送波の周波数応答(dB)
スペクトラム/IUC	スペクトラム表示、搬送波と搬送波 上のイングレスを含む

OFDM プロファイル解析	
プロファイル A、B、C、D、NCP、PLC (その他のプロファイルの実装予定)	
ロックステータス、コードワードエラー (訂正済み、未訂正)	
DOCSIS テスト	
DOCSIS 3.1 の最大 32 の SC-QAM + 2 つの OFDM 下り回 線チャンネル、8 つの SC-QAM + 2 つの OFDMA 上り回線 チャンネルへのボンディングをサポート	
CableLabs® 仕様(DOCSIS 3.1)に準拠	
CableLabs® 仕様(DOCSIS 3.0)に準拠(32x8 ボンディング)	

## 仕様 (続き)

DOCSIS 結果の表示	
最上位	ボンディングされたチャンネルの数、最小受信レベル、最大 BER (プリ FEC)、最小と最大 MER、最大送信レベル、最大 ICFR (チャンネル内周波数応答)
詳細	下り回線 SC-QAM (経時変化チャート: レベル、MER、BER、DQI)、上り回線 (チャート: 送信の経時変化、上り回線 ICFR、上り回線 EQ タップ)
サービステスト	登録、スループット、Ping/Traceroute、パケット品質、ケーブルモデム/パススルー
OFDM	OFDM はスキャン、副搬送波数、PLC ロックステータス、周波数、レベル、MER、CWE (corr、uncorr)、OFDM チャンネル - レベル変動 (最大、最小、平均)、MER変動 (最大、最小、平均)、ICFR、プロファイル解析 (ロック、CWE corr、CWE uncorr) を選択
下り回線	
周波数範囲	54/85/108/258~1,000/1,218MHz (現在アクティブなダイプレクサ周波数による)
上り回線	
周波数範囲	5~204MHz (現在アクティブなダイプレクサ周波数による)
OFDMA チャンネル	DOCSIS 仕様に従い、2 以上
送信レベル範囲 (最大)	+61~+48dBmV、変調方式とボンディングされた搬送波数による、DOCSIS 仕様に準拠
SC-QAM チャンネル	DOCSIS 仕様に従い、最大 8 チャンネル

MER		
指定範囲 <sup>1</sup> (入力レベル: -5~+20dBmV)	21~40dB、64QAM、28~40dB、256QAM、16~44dB OFDM	
最大表示範囲	50dB	
分解能	0.1dB	
確度	±2dB 代表値、25°C 時	
最小ロックレベル	-15dBmV	
BER - ChannelCheck と DOCSISCheck モード	下限 1E-9 (FEC 前/後)	
BER — OneCheck モード	下限 1E-8 (FEC 前/後) デフォルト、1E-9 ユーザー選択可能	
インターリーバー 深さ	128、8 最大	
ディスプレイ/インターフェイス/ユーザビリティ		
高輝度カラー LCD (800 x 480)	5 インチ対角	
タッチスクリーン	静電容量	
ハードキーナビゲーション対応		
起動時間	約 20 秒	
環境		
屋内/屋外使用	IP 54 小雨量 (0.5 インチ/時、1.27cm/時)	
汚染	2°	
落下	1m (3.3 フィート) コンクリート面	
温度範囲	動作時	-10~50 °C (14~122°F)
	非動作時	-20~60°C (-4~140°F)
湿度	10~90% RH 結露なし	
RF 放射イミュニティ	8.5V/m (CATV 測定用)	
最大高度	4000m (13,123 フィート)	

<sup>1</sup>入力レベルの低下に伴い MER 範囲が減少 (最小ロックレベル -15dBmVにおける) 予測 MER 範囲

## 仕様(続き)

入出力	
RF (2)	F コネクタ交換可能
ポート 1	下り回線 54/85/108/258MHz ダイプレクサによって異なる
ポート 2	上り回線 4~204MHz および TDR
USB ホスト (2)	
イーサネット (2)	RJ45 10/100/1000T
電源	偏極
リモートアクセス/接続性	
VNC IP アドレスを介してアクセス可能 HTTPS ファイル IP アドレスを介してアクセス可能 ワイヤレスパーソナルエリアネットワーク経由のモバイルアプリケーション	
バッテリー	
フィールド交換可能 96 W/時 10.4V、セル数 10 個のリチウムイオン	
標準バッテリー寿命	連続使用時 6~8 時間、通常使用時 15~20 時間
バッテリー充電時間	4 時間 (90%) 6~8 時間 100% (AC 充電器)
StrataSync レポート作成機能	
TAP、GB、CPE で収集したセッションベース (ジョブ/ワークオーダー) 結果のファイル保存	
測定画面のキャプチャ、保存、呼び出し	
StrataSync コア	資産とデータの管理
StrataSync Plus	6 年間の拡張データ管理 (オプション)
重量	
ONX-620 と ONX-630	2.7kg (5.95 ポンド)
保護ケースとショルダーストラップ	0.43kg (0.95 ポンド)
WiFi	
テスト インターフェイス	802.11 a/b/g/n (2.4/5GHz)
テスト	WiFi スキャン、WiFi アクセスポイント (2.4GHz のみ)
スキャンの結果	SSID (secure set identification)、チャンネル、セキュリティ設定、電力レベル、MAC アドレス
スキャンモード	AP (アクセスポイント) リスト、チャンネルグラフ、時間グラフ
アクセスポイント (IPX、TSX モデルのみ)	OneExpert CATV を WiFi アクセスポイントとして設定 (イーサネットを WiFi ブリッジとして設定)

TrueSpeed オプション	
テスト インターフェイス	イーサネット 10/100/1000、RJ45、設定、プライマリサーバー、フォールバックサーバー、プロファイル、フォールバックサーバー、アップロードとダウンロードの CIR (認定情報速度) 付きプロファイル
測定・計算結果	ダウンロード/アップロードの実際のレート、ダウンロード/アップロードの理想のレート、TCP 効率、往復時間 (RTT)、最大セグメントサイズ (MSS)
レポート結果	認定情報速度 (CIR)、実際のスループット、ターゲットスループット、飽和ウィンドウ、ターゲット TCP スループット、最大セグメントサイズ (MSS)、最大送信単位 (MTU)、往復時間 (RTT)、往復時間ベース、最大平均スループット、最大ピークスループット、最大ウィンドウサイズ、接続ごとのウィンドウサイズ、接続、アグリゲートウィンドウ、実際のスループット、ターゲットスループット、バッファ遅延、TCP 効率、再送信の合計数
標準規格	VIAMI TrueSpeed VNF、RFC-6349
IP ビデオオプション	
テスト インターフェイス	イーサネット 10/100/1000、RJ45
モード	終端
セットトップボックスのエミュレーション	IGMPv2 および v3 エミュレーションクライアント、RTSP エミュレーションクライアント
サービスの選択	ブロードキャスト自動、ブロードキャスト MPEG2-TS/UDP、ブロードキャスト MPEG2-TS/RTP/UDP、ブロードキャスト RTP/UDP、ブロードキャスト・ローリングストリーム、ブロードキャスト TTS/UDP、ブロードキャスト TTS/RTP/UDP、RTSP MPEG2-TS/(RTP)/UDP、RTSP MPEG2-TS/(RTP)/TCP、RTSP RTP/UDP、RTSP RTP/TCP

## 仕様 (続き)

ビデオ設定	IPv4 IGMP バージョン 2、3、RTSP ポート、RTSP 相互運用性正常、Oracle、Siemens、IPv6 MLD バージョン 2、3
ビデオソースアドレスの選択	IP アドレスとポート番号、IP アドレス、ポート番号、VoD URL 拡張子、RTSP ポートの選択、RTSP ベンダーの選択
ビデオストリームあたりのビデオ解析	同時ストリームサポート、6 終端、アクティブなストリーム数、組み合わせレート、現在/最大
QoS	エラーインジケータ 現在/スコア、IGMP レイテンシ 現在/スコア、RTSP レイテンシ 現在/最大/スコア、PCR ジッター 現在/スコア/履歴、RTP パケットジッタ 現在/スコア/履歴、RTP 損失 現在/スコア/履歴、継続性エラー損失 現在/スコア/履歴、全般 現在/スコア/履歴
パケット損失統計	RTP損失距離エラー 現在/最大/合計、RTP 損失期間エラー 現在/最大/合計、最小 RTP 損失距離、最大 RTP 損失期間、RTP パケット損失数、RTP OOS 数、RTP エラー数、継続性エラー数、イーサネット RX エラー数、RX ドロップ数
ビデオストリームデータ結果 (現在/最小/最大/平均)	合計、IP、ビデオ、オーディオ、データ、不明

トランスポートストリーム統計	エラーインジケータ数、継続性エラー数、同期エラー数、PAT エラー数、PMT エラー数、PID タイムアウト数、サービス名、プログラム名
QoS Expert	2 つのストリームのエラー指標、損失パケット、ジッター、レイテンシを比較
PID 解析 (各ストリーム)	PID 番号、PID タイプ (ビデオ、オーディオ、データ、不明)、PID 説明
レイヤー関連	イーサネット RX エラー、RX ドロップ、ビデオ継続性エラー、ビデオ RTP 損失、ビデオ損失距離合計、ビデオ損失期間合計の総合結果ビュー
標準規格	RFC 2236、IGMP、RFC 2326、RTSP、ISO (IEC 13818)、ビデオトランスポートストリームと解析、ETSI TR 10-290 V2.1、ビデオ測定、TFC 1483、RFC-2684、ATM AAL5
<b>VoIP ソフトウェアオプション</b>	
テストインターフェイス	イーサネット 10/100/1000、RJ45
サポートされている信号プロトコル	SIP RFC 3621
サポートされているコーデック構成 (ITU-T)	G.711 u-law/A-law (PCM/64kbps)、G.722 64K、G.723.1 (ACELP/5.3, 6.3kbps)、G.726 (ADPCM/32kbps)、G.729a (GS-ACELP/8kbps)
VoIP 設定	自動応答、ローカルエイリアス、アウトバウンドエイリアス、プロキシゲートウェイ、コールコントロールポート、100Rel サポート、SIP 相互運用性
VoIP MOS	最適測定をサポート

## 仕様(続き)

<b>ファイバーテスト</b>	
<b>光ファイバーパワーメーター</b>	
USB 光パワーメーター	MP-60、MP-80
測定単位	dBm、mW、dB
コネクタ入力	ユニバーサル 2.5 および 1.25mm コネクタ
電源	USB ポート
<b>光ファイバースコープ</b>	
USB 光ファイバースコープ	P5000i
ゼロ不具合を目指す結果	合否
ゼロスクラッチを目指す結果	合否
低倍率視野(FOV)	水平 740 $\mu$ m、垂直 550 $\mu$ m
高倍率視野(FOV)	水平 370 $\mu$ m、垂直 275 $\mu$ m
検出粒子サイズ	<1 $\mu$ m
電源	USB ポート
プロファイル、チップ、焦点メーター、ボタンアクションの設定	
ライブモード、テストモード、高倍率	
プローブモデル、シリアル番号、ファームウェア	
<b>ホームネットワークテスト SmartID - 同軸ケーブルテスト</b>	
テストインターフェイス	SmartID または SmartID Plus 使用による同軸テスト、テストプローブ(端近辺): SmartID、SmartID Plus、設定: 設定変更可能な伝播速度(VOP)とケーブル補償を持つ同軸ケーブルをサポート
テスト	アクティブ RFID で経路を検出(SmartID Plus が必要)。シングルエンド(形) コアックスマップ(SECM)
SmartID をリモートプローブとして使用したテスト	SmartID で電路を検出、デュアルエンド(形) コアックスマップ(DECM)

<b>テスト結果</b>	ノイズ、インGRESS、周波数スイープテストの要約と合否結果、同軸ネットワークのマップ付き雑音概要、ケーブルの長さ、障害、スプリッター、フィルター、増幅器の詳細ビュー、周波数スイープデータのグラフ表示
<b>周波数範囲</b>	2~1,600MHz
<b>標準アクセサリ</b>	
ハンドストラップと外せるショルダーストラップ付き保護ケース	
国別のアダプタプラグ付き AC 電源	
クイックスタートガイド	
StrataSync コアのサポート	
<b>ISDB-T モジュール</b>	<b>仕様</b>
<b>周波数範囲</b>	130~767MHz
<b>分解能</b>	0.1MHz
<b>チャンネル帯域幅</b>	6MHz
<b>ISDB-T 測定値</b>	
<b>変調方式</b>	DQPSK、QPSK、16 QAM 64QAM
<b>TMCC パラメータ</b>	(自動検出)、TMCC パラメータ: モード、GI、レイヤー(自動検出)
<b>ロックレンジ</b>	45~+110dBuV (パワー合計値)
<b>MER 範囲</b>	33dB
<b>MER 確度</b>	+/- 2dB 代表値、25C 時 <sup>2</sup>
<b>BER</b>	Pre-RS BER 範囲 <sup>3</sup> : 1E-2~1E-9 Post-RS BER: 合否
<b>コンスタレーション</b>	
<b>識別されたチャンネルパラメータ</b>	モジュレーション、GI、セグメント、CCR、モード、インターリーバー
<b>ユーザー選択</b>	チャンネル中心周波数 レイヤー A、B、C

<sup>1</sup>MER 確度範囲: 15~27dB 単一チャンネル入力レベル: 60~100dB $\mu$ V -10~50°C 温度で  $\pm$ 0.5dB 追加、DQPSK が非部分受信レイヤーある場合、MER はサポートされません

<sup>2</sup>200~760MHz 用に最適化された BER 性能、ネットワーク 1E-8 での標準性能

## オーダー情報

説明	パーツ番号		説明	パーツ番号
<b>ONX-620 パッケージ</b>			Seeker 宅内漏れテストキット	TRI-LKG-HL-METER-KIT
	<b>デュアルダイプレクサ</b>		宅内漏れソフトウェアオプション	ONX-CATV-SW-HL-LKG
基本	42/85	ONX-620D31-4285-1010-BAS	OneExpert CATV QAM ビデオ MPEG 検証オプション	ONX-CATV-SW-QAM-VIDEO
	65/204	ONX-620D31-6520-1212-BAS	リターンパス SNR オプション	ONX-CATV-SW-RP-SNR-OCE
IPX	42/85	ONX-620D31-4285-1010-IPX	高速リバーススイープ オプション*	ONX-CATV-RAPIDREVSW
	65/204	ONX-620D31-6520-1212-IPX		
	42/204	ONX-620D31-4220-1012-IPX		
TSX	85/204	ONX-620D31-8520-1212-IPX		
	42/85	ONX-620D31-4285-1010-TSX		
	65/204	ONX-620D31-6520-1212-TSX		
	42/204	ONX-620D31-4220-1012-TSX		
	85/204	ONX-620D31-8520-1212-TSX		
<b>ONX-630 パッケージ</b>			<b>フィールドアップグレード</b>	
NTX	42/85	ONX-630D31-4285-1012-NTX	ONX-630 42/204 Mhz スイープ対応のアップグレードモジュール	UPG-ONX-D31-S-4220-1012
	65/204	ONX-630D31-6520-1212-NTX	ONX-620 42/204 MHz アップグレードモジュール	UPG-ONX-D31-4220-1012
	42/204	ONX-630D31-4220-1012-NTX	ONX-620/630 85/204 MHz アップグレードモジュール	UPG-ONX-D31-S-8520-1212 (RF モジュールのみ、下取りが必要)
	85/204	ONX-630D31-8520-1212-NTX	フィールドアップグレード (StrataSync 経由) QAM ビデオオプション	UPG-ONX-CATV-SW-QAMVIDEO
SWX	42/85	ONX-630D31-4285-1012-SWX	フィールドアップグレード (StrataSync 経由) リターンパス SNR オプション	UPG-ONX-CATV-SW-RP-SNR
	65/204	ONX-630D31-6520-1212-SWX	StrataSync を通した HomeTDR ソフトウェアのアップグレード	UPG-ONX-CATV-SW-HOMETDR
	42/204	ONX-630D31-4220-1012-SWX	フィールドアップグレード (StrataSync 経由) 高速リバーススイープ オプション	UPG-ONX-CATV-RAPIDREVSW
	85/204	ONX-630D31-8520-1212-SWX		
<b>オプション</b>				
TrueSpeed	ONX-TRUESPEED			
IP ビデオ	ONX-CATV-IPVIDEO			
DOCSIS 3.1	ONX-CATV-SW-D31			
VoIP	ONX-VOIP			
フォワードスイープ	ONX-CATV-SW-FWD-SWEEP			
リバーススイープ	ONX-CATV-SW-REV-SWEEP			
リバーススイープレススイープ	ONX-CATV-SW-REVSWPLSSWP			
リバースアラインメント	ONX-CATV-SW-REV-ALIGN			
インGRESSエキスパート	ONX-CATV-SW-INGRESS-EXP			
上り信号発生器	ONX-CATV-SW-RSG			
リターン信号ジェネレータ (ループバック付き)	ONX-CATV-SW-RSG-LOOP			
HomeTDR	ONX-CATV-SW-HOMETDR			

\* SWX モデルに付属



## オーダー情報(続き)

説明	パーツ番号
<b>ブロンズとシルバー延長保証</b>	
5年間の保証	BRONZE-5
1回の校正	SILVER-3
5年間の保証と2回の校正	SILVER-5
<b>アクセサリ(オプション)</b>	
交換用充電器(電源コードなし)	AC-CHARGER
自動車充電器	AC-CAR-CHARGER
交換用フィットケース	ONX-CATV-STD-ACCY-KIT
ストランドフック	1019-00-1366
交換用 96W/時 バッテリー	ONX-CATV-BATT-96WHR
交換用スクリーン プロテクター(5パック)	ONX-SCREEN-PROTECTION
大型アクセサリバッグ、 フィットケース、 12Vアダプタ、ストランド フック、イーサネット パッチコード(1m)、スペ アのハンドストラップ	ONX-CATV-DLX-ACCY-KIT
MP-80 USB 光パワー メーター	MP-80A
MP-60 USB 光パワー メーター	MP-60A
FI-60 光活線識別機	FI-60
P5000i USB ファイバー スコープ	FBP-P5000I

# 機能マトリックス

		ONX-620			ONX-630	
		ONX 機能パッケージ				
機能		基本	IPX	TSX	NTX	SWX
OneCheck	ダッシュボードでのイングレススキャン、下り回線サマリー、DOCSIS サマリー、Session Expert サマリー表示	■	■	■	■	■
OneCheck 詳細画面	イングレススキャン - フルグラフィックビュー	■	■	■	■	■
OneCheck 下り回線詳細	フルスキャンによるチャンネル詳細 - レベル、雑音周波数、MER、BER、C/N、エコー、GD、ICFR	■	■	■	■	■
	システムビュー (最大 dB デルタ、最大ビデオデルタ)	■	■	■	■	■
	お気に入り	■	■	■	■	■
	チルト	■	■	■	■	■
	スマートスキャン			■	■	■
	MER グラフ - 全チャンネル			■	■	■
	BER グラフ - 全チャンネル			■	■	■
	オフエアイングレス検出 (ダウンストリームにおける搬送波上のイングレス)	■	■	■	■	■
OneCheck DOCSIS 詳細	下り回線 DOCSIS チャンネルスキャンによるチャンネル詳細 - レベル、MER、BER、C/N、エコー、GD、ICFR	■	■	■	■	■
	上り回線 DOCSIS チャンネルスキャンによるチャンネル詳細 - TX レベル、変調タイプ、ICFR		■	■	■	■
	DOCSIS スループット		■	■	■	■
	DOCSIS パケット品質		■	■	■	■
OneCheck - Session Expert 詳細	検出された問題の表	■	■	■	■	■
	提案アクションの表	■	■	■	■	■
	TAP と GB 間のイングレス比較	■	■	■	■	■
	TAPと GB 間のドロップ解析	■	■	■	■	■
	TAP、GB、CPE 間の詳細な下り回線比較	■	■	■	■	■
	TAP、GB、CPE 間の詳細な SmartScan 比較			■	■	■
	TAP、GB、CPE 間の詳細なオフエアイングレス比較	■	■	■	■	■
	TAP、GB、CPE 間の詳細な DOCSIS 比較	■	■	■	■	■
TAP、GB、CPE 間の詳細な DOCSIS サービステスト比較		■	■	■	■	

# 機能マトリックス

		ONX-620			ONX-630	
		ONX 機能パッケージ				
機能		基本	IPX	TSX	NTX	SWX
ChannelCheck	フルスキャンによるチャンネル詳細 - レベル、雑音周波数、MER、BER、C/N、エコー、GD、ICFR	■	■	■	■	■
	搬送波上イングレス (7 チャンネルワイド) の DS スペクトラム	■	■	■	■	■
	システムビュー (最大 dB デルタ、最大ビデオデルタ)	■	■	■	■	■
	お気に入りグラフ (最大 16 チャンネル)	■	■	■	■	■
	チルト	■	■	■	■	■
	DQI の経時変化	■	■	■	■	■
	レベルの経時変化			■	■	■
	MER の経時変化			■	■	■
	BER の経時変化			■	■	■
	下り回線のチャンネル内応答グラフ			■	■	■
	SmartScan™			■	■	■
	コンスタレーション	■	■	■	■	■
DOCSIS 3.1 テスト	スキャン内での OFDM 信号の検出と特定 - 自動	オプション	オプション	オプション	■	■
	OFDM 信号の測定	オプション	オプション	オプション	■	■
	チャンネル帯域全体を通して OFDM 信号 MER の経時変化を測定	オプション	オプション	オプション	■	■
	OFDM 信号レベルの変動	オプション	オプション	オプション	■	■
	OFDM の搬送波対イングレス解析	オプション	オプション	オプション	■	■
	PLC 検出、ロックステータス、レベル、MER、CWE	オプション	オプション	オプション	■	■
	NCP ロックステータス、CWE	オプション	オプション	オプション	■	■
	プロファイル解析 - ロックステータス、CWE	オプション	オプション	オプション	■	■
	ボンディング検証、SC-QAM および OFDM	オプション	オプション	オプション	■	■
	1Gbps イーサネットおよび 2.5Gbps DOCSIS のスループットテスト	オプション	オプション	オプション	■	■

# 機能マトリックス

機能		ONX-620			ONX-630		
		ONX 機能パッケージ					
		基本	IPX	TSX	NTX	SWX	
DOCSISCheck	下り回線 DOCSIS チャンネルスキャンによるチャンネル詳細 - レベル、MER、BER、C/N、エコー、GD、ICFR	■	■	■	■	■	
	DQI の経時変化	■	■	■	■	■	
	レベルの経時変化			■	■	■	
	MER の経時変化			■	■	■	
	BER の経時変化と ES/SES			■	■	■	
	下り回線のチャンネル内応答グラフ			■	■	■	
	上り回線 DOCSIS チャンネルスキャンによるチャンネル詳細 - TX レベル、変調タイプ、ICFR	■	■	■	■	■	
	送信の経時変化	■	■	■	■	■	
	DOCSIS 上り回線チャンネル内周波数応答グラフ			■	■	■	
	速度チェック - スループット		■	■	■	■	
	パケット品質 - パケット損失、往復遅延、ジッター		■	■	■	■	
	Ping/Traceroute		■	■	■	■	
	モデムの RJ-45 ポートのパススルー		■	■	■	■	
イーサネットテスト	イーサネット		■	■	■	■	
	OneCheck イーサネット		■	■	■	■	
	速度チェック - スループット		■	■	■	■	
	Ping/Traceroute		■	■	■	■	
	FTP/HTT のアップロード/ダウンロード		■	■	■	■	
	ウェブブラウザ	■	■	■	■	■	
	VoIP SIP		■	■	■	■	
	VoIP MOS		オプション	オプション	オプション	オプション	
	IP ビデオ		オプション	オプション	オプション	オプション	
TrueSpeed™		オプション	オプション	オプション	オプション		
WiFi テスト	イーサネット		■	■			
	Ping		■	■			
	TrueSpeed		オプション	オプション			
	WiFi - 2.4GHz と 5GHz	SSID 調査 - グラフおよび表形式	■	■	■	■	■
		SSID レベルの経時変化	■	■	■	■	■
ローカル WiFi アクセスポイント			■	■	■	■	

# 機能マトリックス

		ONX-620			ONX-630	
		ONX 機能パッケージ				
機能		基本	IPX	TSX	NTX	SWX
エキスパートモード	テストポイントテンプレート、カスタムリミットプランおよびライブ/保存測定値比較				■	■
	チャンネルエキスパート				■	■
	DOCSIS エキスパート				■	■
	イングレスエキスパート	オプション	オプション	オプション	■	■
	Quick Check Expert	オプション	オプション	オプション	■	■
上り信号発生器	最大 8 つの CW または QAM 信号を送信	オプション	オプション	オプション	■	■
ループバック付き上り信号発生器	同時電力レベル測定付きで最大 8 つの CW または QAM 信号を送受信	オプション	オプション	オプション	■	■
スイープテスト	Sweepless Sweep™				■	■
	フォワードスイープ				オプション	■
	リバーススイープ				オプション	■
	Reverse Sweepless Sweep™				オプション	オプション
	リバースアラインメント				オプション	■
モバイルアプリとの統合		■	■	■	■	■
ワイヤレスパーソナルエリアネットワーク		■	■	■	■	■
SmartID 対応	SmartID と SmartID Plus	■	■	■	■	■
WiFi Advisor 対応	WFED-300AC、SmartChannel ウィザード	■	■	■	■	■
光ファイバースコープ対応 - P5000i		■	■	■	■	■
光パワーメーター対応 - MP-60、MP-80、FI-60 ファイバー ID		■	■	■	■	■
HomeTDR		オプション	オプション	オプション	オプション	オプション
宅内漏れテスト		オプション	オプション	オプション	オプション	オプション
QAM ビデオ MPEG 検証					オプション	オプション
リターンパス SNR		オプション	オプション	オプション	オプション	オプション
高速リバーススイープ					オプション	■

\* DOCSIS は CableLabs の商標です。



〒163-1107  
東京都新宿区西新宿6-22-1  
新宿スクエアタワー7F  
電話: 03-5339-6886  
FAX: 03-5339-6889  
Email: support.japan@viavisolutions.com

© 2023 VIAVI Solutions Inc.  
この文書に記載されている製品仕様および内容は  
予告なく変更されることがあります  
oneexpertcatv-ds-cab-nse-ja  
30179787 010 0123